中期経営計画の進捗（2023年度～2025年度）

2023年度から開始した中期経営計画では、「真空技術による社会的価値創造」と「利益・資本効率重視の経営」を基本方針に掲げています。この実現に向けて、中長期的な成長が見込まれる半導体・電子デバイス分野における事業強化に注力し、製品競争力向上のための開発投資も拡充しています。また、グローバル生産性向上についてはモノづくり力の一層の強化を図るとともに、売上高目標3,000億円達成のための生産体制構築にも努めています。

こうしたULVACの成長に必要な開発投資資金の確保や外部環境変化への迅速な対応を実現するために、強固な財務基盤の構築、人的資本の強化等に注力し、今後も経営基盤のさらなる強化を図ります。

基本方針

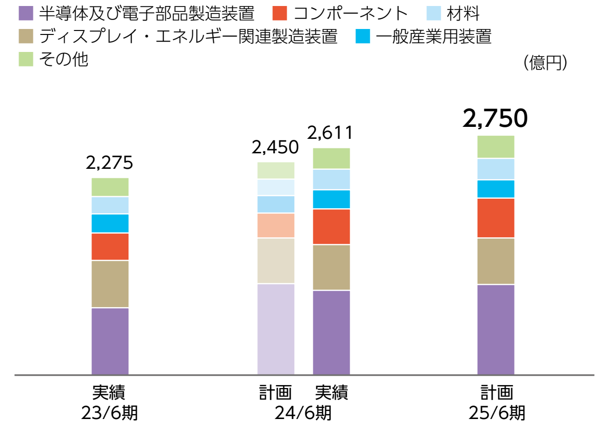
真空技術による社会的価値創造

利益・資本効率重視の経営

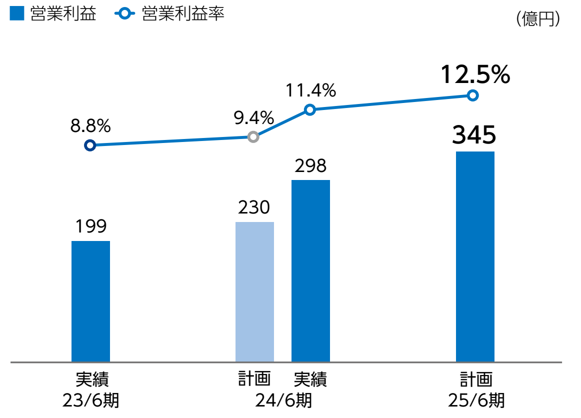
重点戦略	ポイント
1 成長事業における製品競争力の強化	●共創によるイノベーションの推進 ●半導体・電子装置事業の拡大 ●カスタマーサービス事業の強化
2 グローバル生産性の向上	●モノづくり力強化 ●デジタル化の推進
3 経営基盤の強化	●ESG経営の強化 ●財務基盤の強化・CFマネジメントの強化 ●人財経営の推進

	23/6期 実績	24/6期 実績	25/6期 計画	26/6期 目標
売上高	2,275億円	2,611億円	2,750億円	3,000億円
売上総利益率	29.5%	30.9%	32.4%	35%
営業利益（率）	199億円（8.8%）	298億円（11.4%）	345億円（12.5%）	480億円（16%）
ROE	7.3%	9.7%	10.1%	14%

売上高



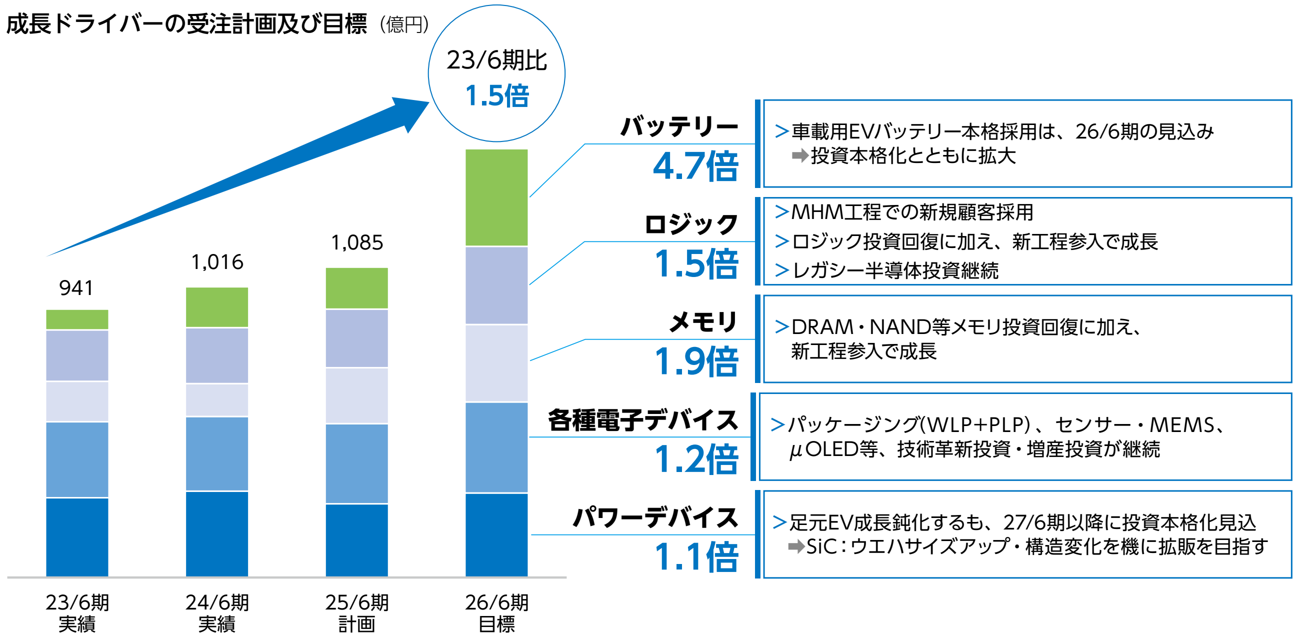
営業利益（率）



＊2025年6月期よりFPD製造装置からディスプレイ・エネルギー関連製造装置に名称を変更しました。

成長領域におけるイノベーションの創出・共創

成長ドライバーの受注計画及び目標 （億円）

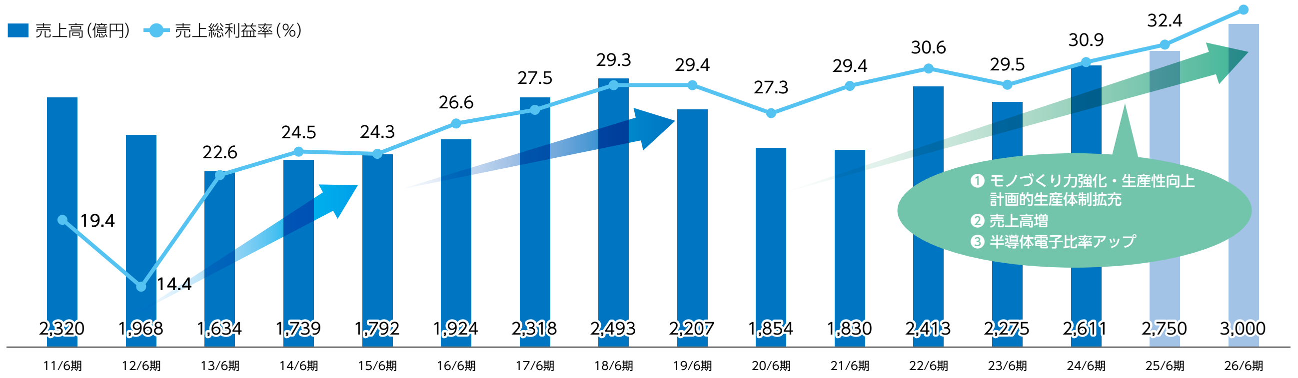


モノづくり力強化による生産性向上・利益率改善

●製品企画力、戦略購買力の強化により、計画的生産体制を拡充させることで生産性向上・利益率改善につなげる

●収益性が高い半導体及び電子部品製造装置の売上比率増加による利益率改善の効果を含め、26/6期に売上総利益率35%を目指す

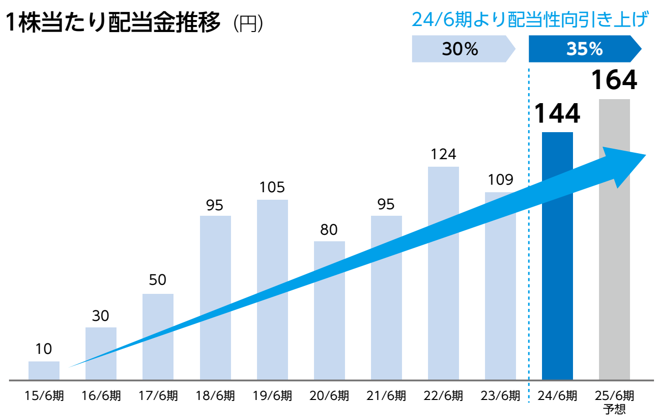
売上総利益率推移



株主還元

●株主還元を最重要政策の一つと位置付け、さらなる成長により長期的な配当増額を目指す

●24/6期より業績連動配当性向を35%へ引き上げ、株主還元を拡充

➡ 24/6期配当金144円（前期比+35円）は過去最高

1株当たり配当金推移 （円）